

種子生産におけるコムギ黒節病の総合的防除技術の開発

利用対象：麦類種子生産者等

背景・目的

需要に応じた多様な品種の生産が特徴である三重県の小麦生産において、健全種子の安定供給は非常に重要となっています。

そこで、種子伝染性細菌病であるコムギ黒節病の発生拡大を防ぐため、防除方法及び簡便な保菌状況の調査法を開発しました。

防除方法

種子消毒剤は金属銀水和剤が有効であり、3月29日に登録申請されました。

(表1)

耕種的防除法は、播種時期を遅らせることが有効です。(図1)

表1. 金属銀水和剤の種子消毒によるコムギ黒節病発病抑制効果 (平成27年)

処理方法	調査 茎数	発病茎率 (%)	防除価
種子重1.0%湿粉衣	699	3.2	60
種子重0.5%湿粉衣	685	3.4	58
20倍・10分間浸漬	784	2.0	75
無処理	701	8.0	-

品種:あやひかり 播種日:11月7日

発病茎率調査日:5月1日 農業研究所内圃場(松阪市嬉野川北町)

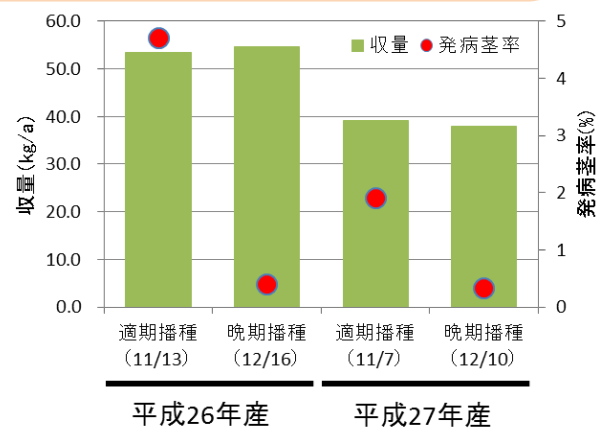


図1. 播種時期の違いがコムギ黒節病の発病と収量に及ぼす影響

(品種:あやひかり、播種量 8kg/10a、農業研究所内)

保菌状況の調査方法

マルチウェルプレートを用いた黒節病菌保菌粒率調査法を開発しました。この方法は、従来の調査方法と比べて保菌の判定がしやすく、低コストです。

お問い合わせ先	農産研究課	田畑茂樹	電話 0598-42-6359
	フード・循環研究課	橋爪不二夫	電話 0598-42-6351
	中央農業改良普及センター	芳尾知也	電話 0598-42-6715
参考になる資料	パンフレット「黒節病などの種子伝染性病害に注意しましょう」 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター 三重農研HP: http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		